

# 『附属中学校が聖公會林護紀念中學(香港)と、オンライン交流を行いました!!』

## <林護中学校の生活について>

林護中学校は、新型コロナウイルスの影響により学校が13時15分には終わり、1日2回の体温チェックが行われるなどコロナ対策が十分に行われているそうです。

また、林護中学校の学校行事には私達の学校にはないTED talks という生徒達が異なる話題についてプレゼンをするという大変興味深いものもあるそうです。



## <香港のポップカルチャーについて>

香港は昔イギリスの植民地だったため様々な国の文化があるそうです。例えば、食べ物では、「韓国・イタリア・タイ・イギリス・日本」などの料理が楽しめるそうです。

特にたくさんお話いただいたのが、音楽についてです。洋楽から日本の音楽まで様々なジャンルの音楽が楽しめるそうです。

### Street Performance

- Busking: common entertainment in urban areas eg. singing, dancing, acrobatics...
- Relieve pressure from work and create a vibrant atmosphere
- Under covid-19, street performances have been suspended but online performances have emerged :)



## <附属中学校の生活について>

このテーマについては、2年生が学校の校風について、そしてコロナに対する学校での生活・ルールについて発表しました。

これから生徒会が創りあげていく企画や、学校教育目標、生徒会の新しいスローガンである「当たり前を見直す」ために様々な企画を行うといったことを話しました。

他にも林護中学校と異なる制服やいじめ対策についても発表しました。



## <佐賀のポップカルチャーについて>

このテーマについては、1年生が学校行事と交えながら発表をしました。

佐賀の面積や人口のほか、佐賀海苔やバルーンフェスティバルの魅力について熱く語りました。



## <感想>

○この交流で多くの人と協力して、また一緒に物事に取り組むことの大切さを改めて実感しました(2年女子生徒)

○外国の方々と交流をすることで多面的・多角的に物事を捉えようとする意識が高まりました(2年男子生徒)

○中々英語を上手に話すことが出来なかったけどとても貴重な経験が出来ました(1年男子生徒)

○なんでも実際に現地の人と話したり、体験したりすることで固定概念に捉われないようにすることを学びました。(1年女子生徒)

○香港の方との共通点が見つけられ、違う国でも親近感が生まれました。(1年女子生徒)

## <交流の成果と今後の展望>

準備過程では、仲間と協力してスライドを作り上げるということや、使われる言語が違ってもコミュニケーションをとるという姿勢が大事だと学ぶことができました。このことをぜひ日頃の生活に活かしていきたいです。

また、今回の交流で学んだ「香港の魅力」や「佐賀の新たな良さ」などを私たちだけでなくたくさんの人に知ってもらうために生徒集会という形で発表しました。多くの人が生徒集会後「私(僕)も交流をしてみたい」という感想を言っていて、この発表を通じてたくさんのひとが他国に興味を持ってくれるようになったら良いと思います。

